

---

# アイデア創出の技術【1】

---

主目的:

アイデアをどんどん生み出す人の基本プロセス  
【創造的(新規&有用)に考える】→【実現性を高める】  
をゲームを通じて、コンパクトに(楽しく)学習する。

副目的:

農商工連携プロデューサーの  
【アイデア発想の着眼点】&【アイデア実現性を高める戦術・姿勢】を体感する。

---

本日のコンテンツ:

「プロデューサーメーカ」(90~120分)

「一人で行うアイデア発想法」(時間が余れば、皆さんのニーズに応じて紹介)

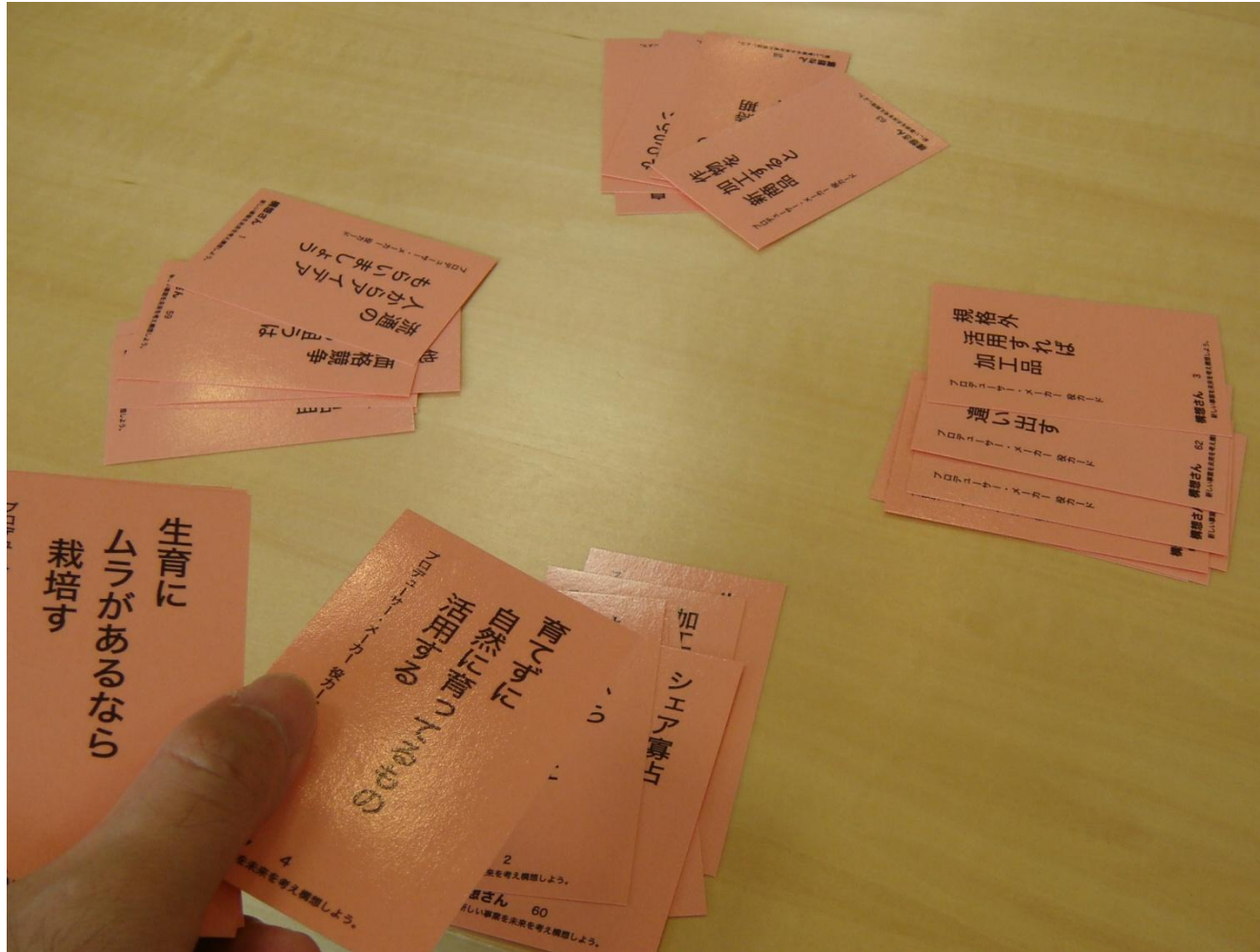
---

担当講師:

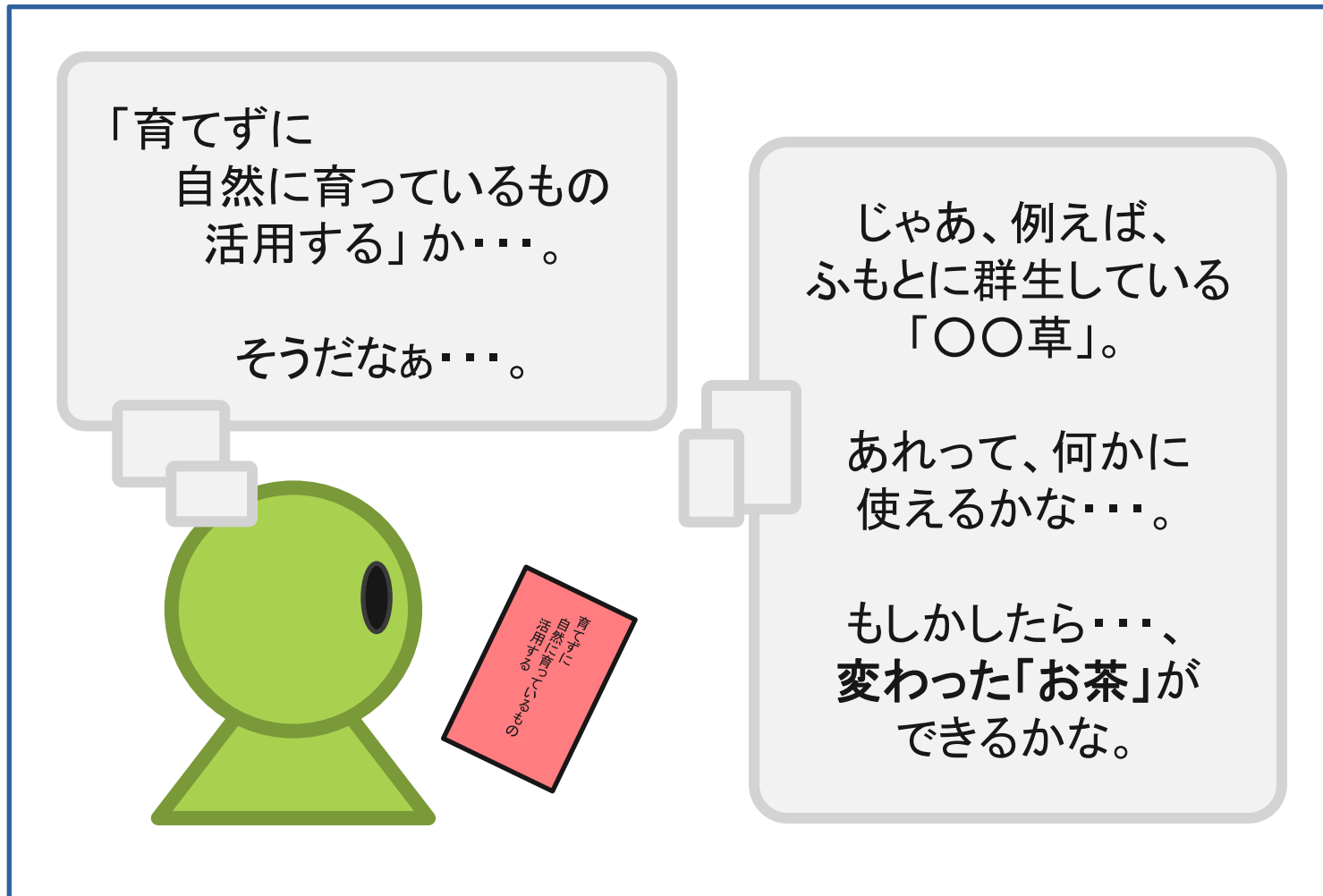
アイデアプラント 代表 石井力重

【質問いつでも: rikie.ishii@gmail.com】

---



【STEP1】赤いカード（構想さん、とかかれたカード）を、トランプのように、全員に配る  
（63枚、全部配る。見えてもOK。多少、枚数がばらついてOK。迅速に配る。）



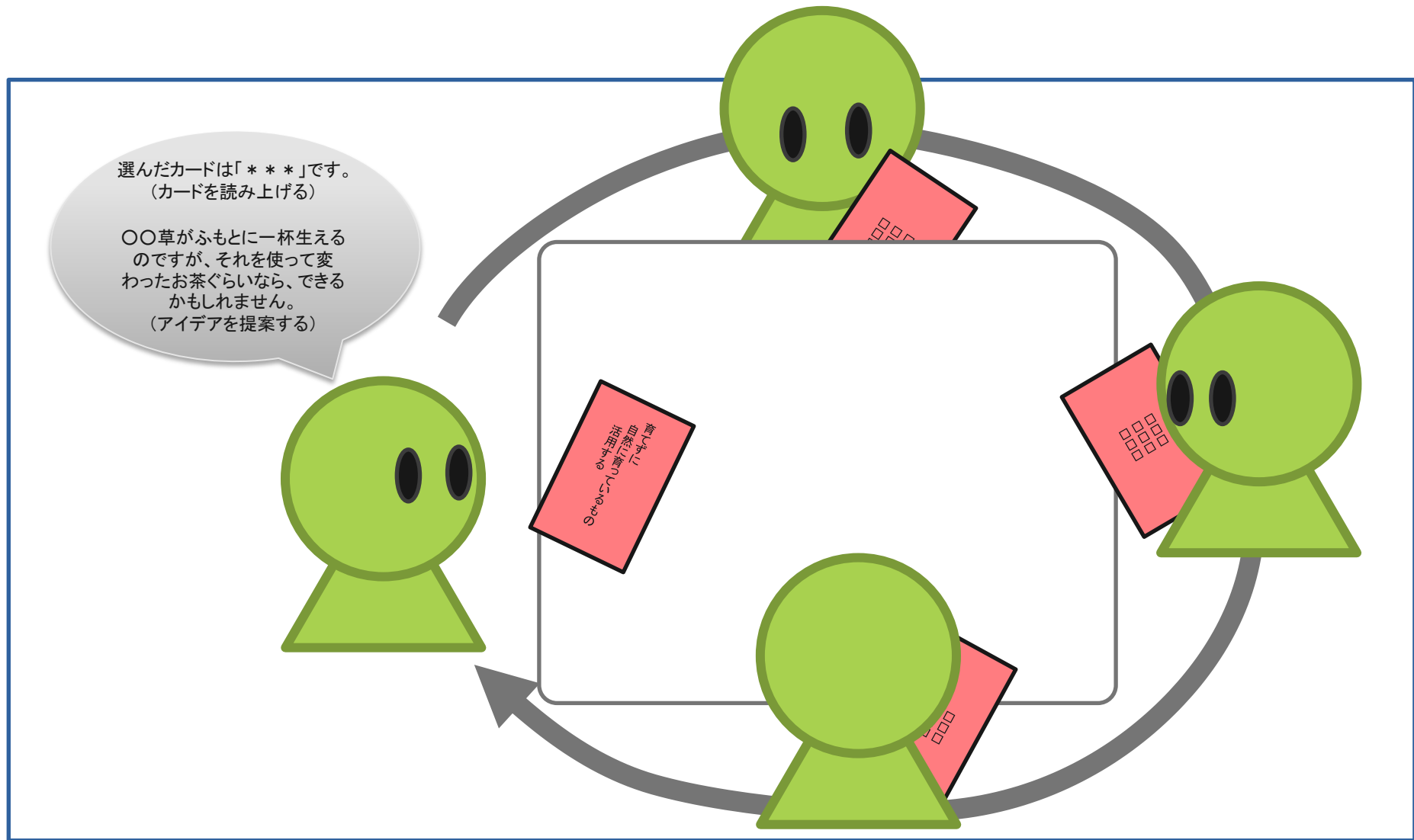
【STEP2】赤いカード（構想さん、とかかれたカード）で、アイデアを発想する。（時間：8分）  
（実現性が分からない案でOK。手持ち中3枚以上選びアイデアを考えておく）

（では、何について、アイデアを出すの？）→

## 【！】発想のテーマは？

「5人の持つ(又は、利用しえる)資源のうち、  
何かを使ってできる新事業・新商品のアイデア」

- **資源**は、食材、土地、設備、人材、販売チャネル、ブランド、他など、“事業に活用しえるもの”を広くさします。
  - **実現性の考慮は後回しで結構です**。「新しい可能性をできるだけ見つけ出して、場に提案していく。」という姿勢で発想していきましょう。
  - **一見、事業化しにくい資源**について、何か使えないかと考えると、面白い可能性を見出すことができます。
- 【！】メンバーが持つ(又は、利用しうる)資源が分からない場合、ここで、簡単な自己紹介を行います。1人1分。名前と普段している仕事と、持つ(又は、頑張れば利用できるかもしれない)資源を、思いつく範囲で述べます。



【STEP3】じゃんけんで勝った人から順に、番が回る。(時計回り)。

番では、手元から1枚出し、読み上げ、アイデアを1つ(複数あれば複数でも良い)提案する。

目安時間1人30秒。全部で20分。未成熟な段階の案でOK。出し尽くして、なお、出すことが重要。苦しいけれど、独創的なアイデアを出しやすくなる。自分の番でない時、出されたアイデアのよいところをコメントすると発想しやすい場が出来る。派生するアイデアを思いついたら、それもコメントしていい。ただし、コメントの際に、アイデアの批判はしない。

## 【STEP4】 セレクト1 (アイデアを1つ選ぶ)

---

- ・アイデアスケッチを書く(ヘッドライン+詳細3行)A4白紙
- ・自分の出したアイデアでも、人の出したアイデアでも。自分なりに変えてもいい。記憶が曖昧でもOK
- ・一人3枚。(時間は3+2分)
- ・全員が書き終わったら、シートを左隣の人に回す。手元に来たら「面白い」もしくは「もっと広がる可能性がある」と思うものに☆印を書く。(何枚でもOK)。
- ・終わったらまた回し、同様に☆をつける。繰り返し、最後は自分のシートについても☆をつける。
- ・皆でシートを星の多い順に並べて、もっとも☆の多いものを、後半に進める。(2位以下のシートはこの後使わないので、机の下にしまう)
- ・同着1位があれば、その各提案者が簡単に説明し、セーノで、指を指して決める。

アイデアスケッチ例

### よもぎ茶

- ・ふもとに群生するよもぎを利用
- ・洗って乾燥、茶葉ぐらいにカット
- ・緑茶と同じぐらいのグラム単価

## トップアイデアのレビュー (各テーブル、1分でショートプレゼン)

---

休憩 5分

(しかし、残り時間が30分を切っている場合は、続行)

## 【STEP5】懸念事項の抽出（Cブレスト）

---

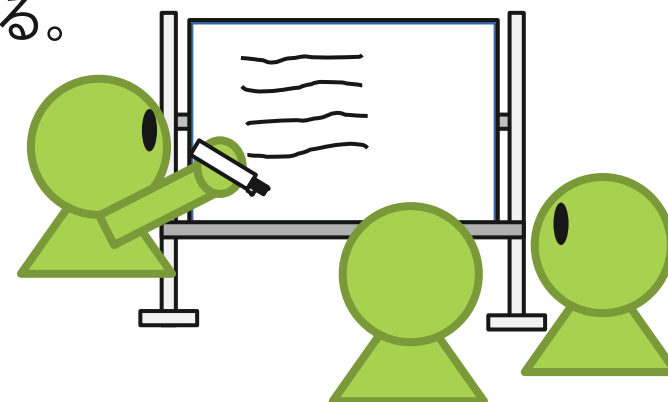
そのアイデアの心配なところ、起こりそうな問題、リスク、など、懸念事項を列挙する。

これは「批判ブレスト」という作業。アイデアを強くするために必要なので徹底的にだす。些細なことでもOK。一人メモ役をきめて、ホワイトボード（無ければ、A4の紙）に書き留める。時間は5分。

次に「これは重要な懸念事項である」と思うものに☆印をつける。いくつかの懸念事項につけてもいい。各々がペンを持って、独自の判断でつける。

もっとも☆の集まった懸念事項を、次の段階へ進める。それをA4の紙に書き写しておく。

※補足：トップの懸念事項に、チームの力を絞り、打破する。  
今回は時間の都合でやらないが、本格的なアイデアワークの場合、懸念事項Top3に対して以降の作業を行う。  
本ワークはTop1のみに対して行う簡易バージョンである。  
いずれにしても本質は、重要な、少ない課題の克服に知力を収束させて、短時間で克服する点にある。





トップアイデア(のアイデアスケッチ)

## よもぎ茶

- ・ふもとに群生するよもぎを利用
- ・洗って乾燥、茶葉ぐらいにカット
- ・緑茶と同じぐらいのグラム単価

ホワイトボードで最も☆の多く付いた懸念事項

売れてきても  
大量には  
製造できない

(よもぎ勝手に群生しているが、  
秋口は加工する人手はとりにくい)

【STEP6】トップアイデアと、最重要の懸念事項を並べて、  
アイデア強化のための発想テーマを書く。

「〇〇〇というアイデアを実行しつつも、□□□という懸念事項を  
カバーするには、どうすればいいか？」

表現をすこし簡素化して紙に書く。(=後半のアイデアワークのテーマ)

ふもとに群生しているよもぎでよもぎ茶を作るが、  
秋口に人手がとりにくく大量には製造できない  
という懸念事項をカバーするにはどうすればいいか＝

(表現をすこし簡素化して)

よもぎ茶の大量加工を  
実現するには  
どうすればいいか



【STEP7】人数によって、1つの色を2つに分ける。

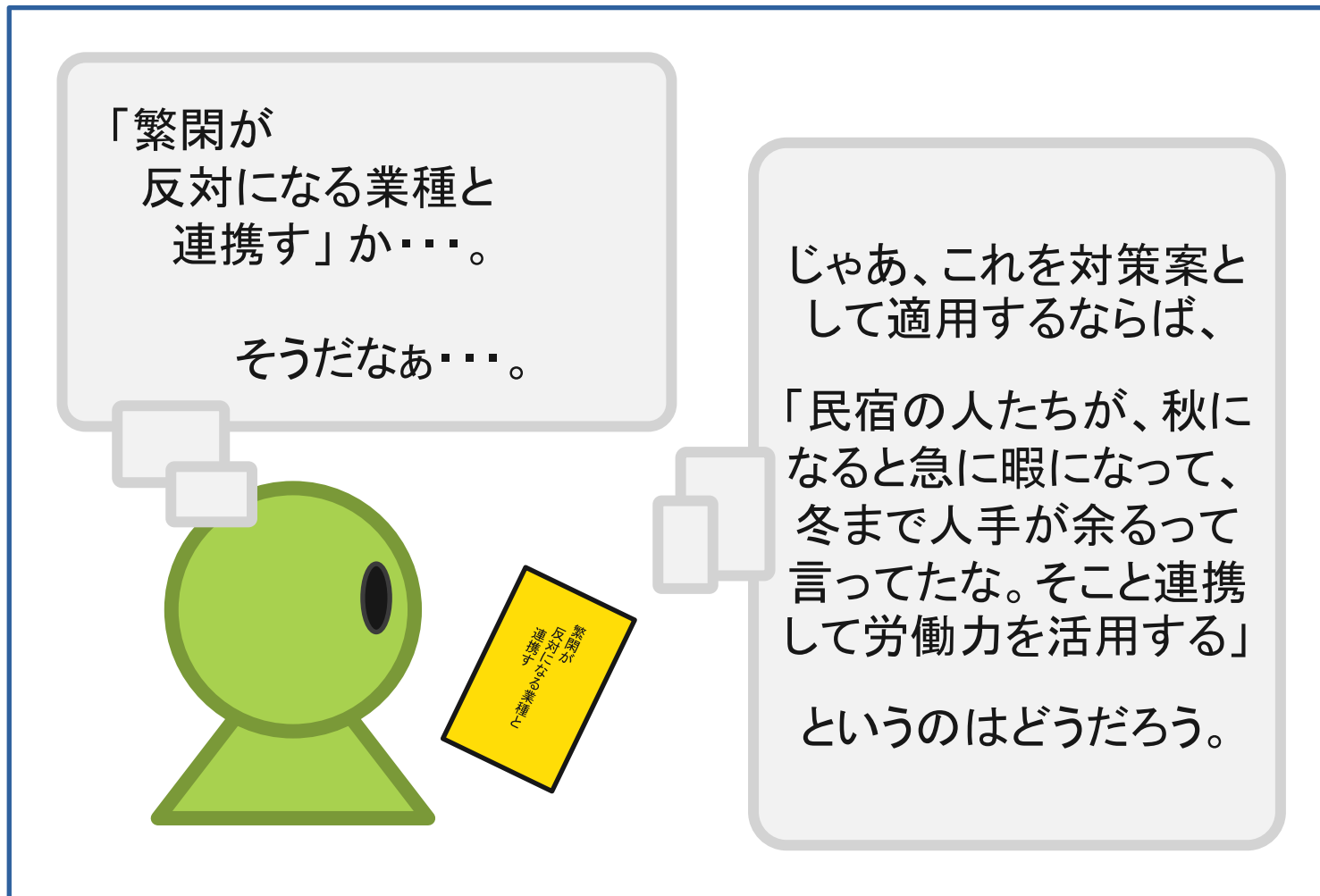
分け方 = 3人ならそのまま。

4人なら緑色を2つに分割。(写真は4人のケース)

5人なら緑、黄を2つに分割。

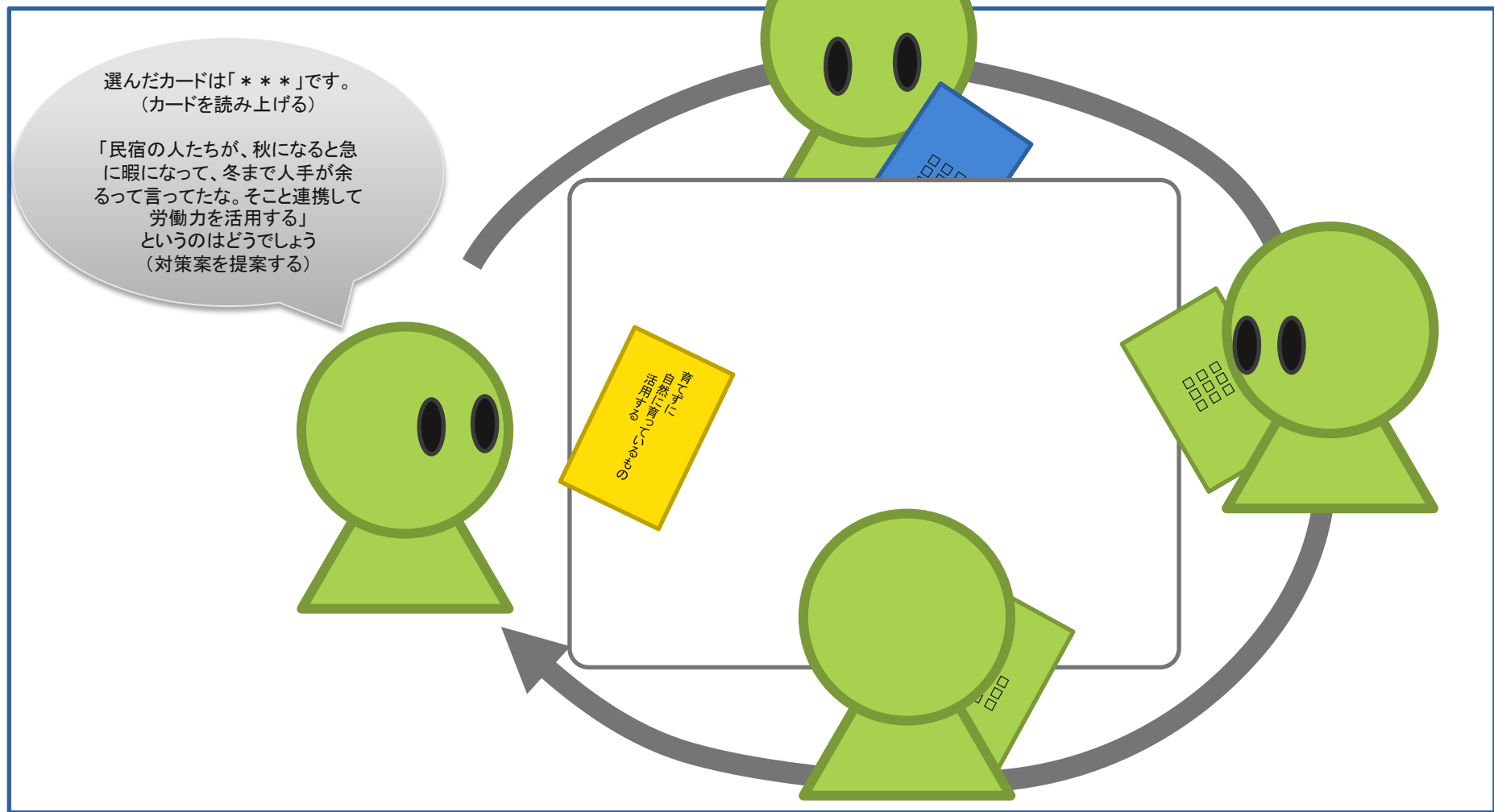
6人なら各色を2つに分割。

ジャンケンで勝った人から好きな山を取る。



【STEP8】担当した色(黄・緑・青)のカード(ネットワークさん、やり抜くさん、信用さん、とかかれたカード)で、対策案を発想する。(時間:8分)

(図の例は、黄色のカード(ネットワークさん)を担当した人)



【STEP9】対策案を、時計回りに提案していく。

(“解決策になるかもしれない”レベルの案でOK。

手持ち中3枚以上選びアイデアを考えておく)

赤いカードのときと同様に、他のメンバーは、肯定的なコメントや

そこから思いつくアイデアをコメント。(その解決策のよいところに目を向けて)

目安、一人30秒、目安20分。

## 【ショート・プレゼン】

各テーブルから、代表者が、アイデアワークの内容をプレゼン(3分)。

「トップアイデア」と「最重要の懸念事項」と「その対策案」をプレゼン。

(最後の対策案は1つをピックアップして深く伝えてもいいし、  
いくつかの対策案を紹介してもいい)

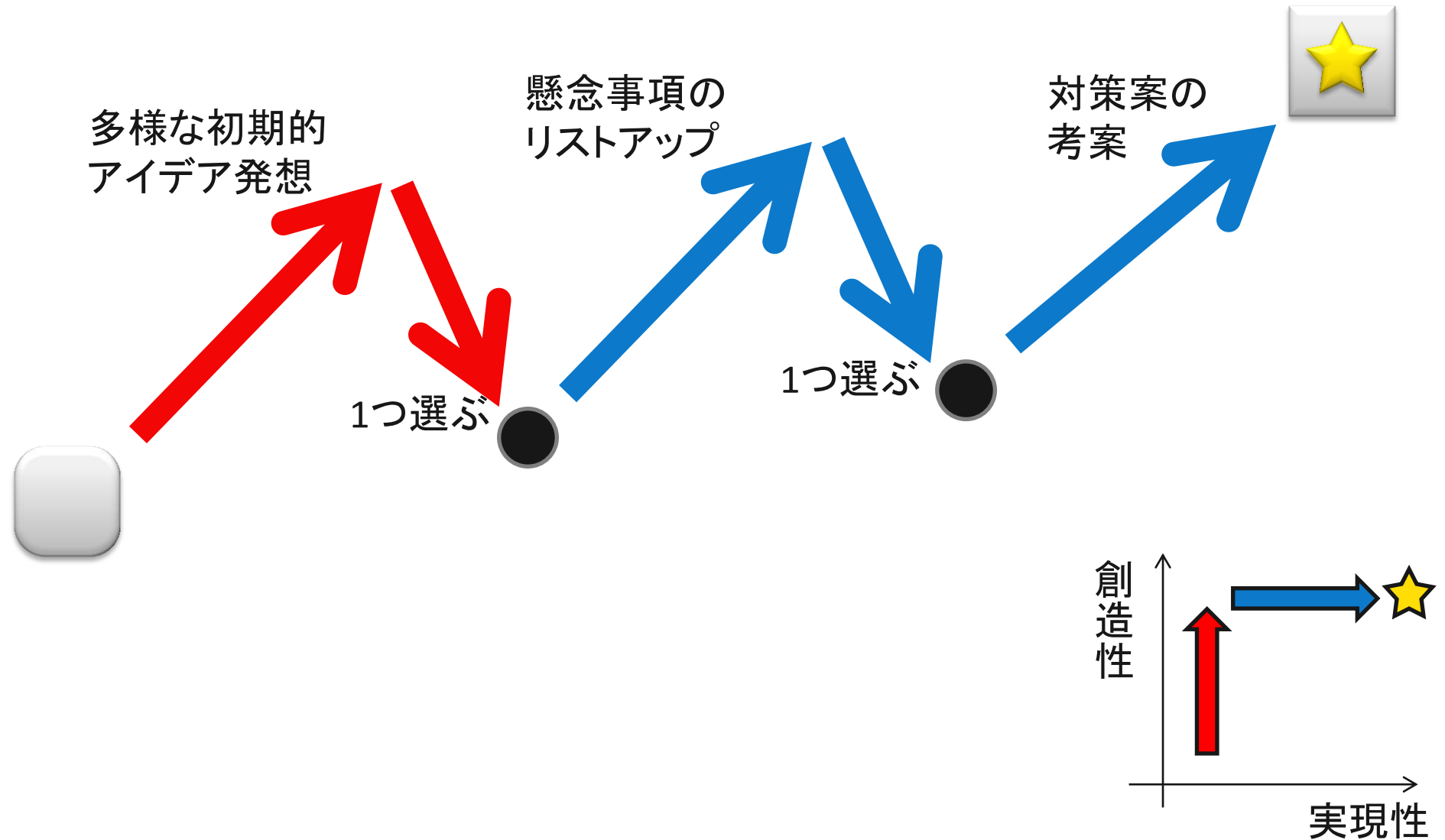
プレゼンに使える道具は「紙」と「ホワイトボード」のみ(プロジェクターは使えません)

---

準備時間は5分です：


プレゼンターを決めて、その人が中心になって  
「伝える内容」をディスカッションしてください。

# 振り返り

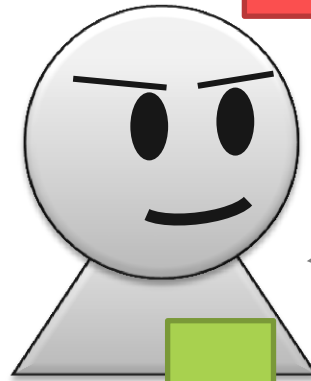


# 振り返り2

農商工連携プロデューサーの

【アイデア発想の着眼点 】&【アイデア実現性を高める戦術・姿勢   】

他の人や顧客から信頼され、  
つながりや取り組みを  
作り出すベースを築く  
「信用さん」



新しい取り組みを  
発想力豊かに考え出していく  
構想力  
「構想さん」



新しい取り組みに不可欠な  
リスクや不安定さを  
乗り越えて実現するまで  
やりぬく精神面と工夫  
「やり抜くさん」



外とつながり  
足りない資源を  
獲得してくる  
人的資質  
「ネットワークさん」



---

# 質疑応答

or

# 一人で発想する技法

(日々の業務でアイデア出しに苦勞することがあれば、それにマッチした技法紹介)

---

## メッセージ:

8分ウォーク

個人理念: 尊敬企業 ← 創造的な人を輩出する社会

質問いつでも: [rikie.ishii@gmail.com](mailto:rikie.ishii@gmail.com)

---

有難うございました。